

2007 年度

科目名 教科教育法特講Ⅲ	対象学科・学年 専攻科教福 1 回生	担当者 松田 晃
授業テーマ ・これからの理科教育のあり方（小学校理科を中心に据えて）		
授業の概要と目標 ・小学校「生活科」「理科」の設定・改訂の経緯、基本的な考え方、その目標と内容構成（A－生物とその環境 B－物質とエネルギー C－地球と宇宙の扱い方について考察）等を明らかにし、科学的思考を踏まえた自然認識と人間形成をめざす理科教育の重要性・あり方を把握・追及する。更に理科教育の実践に役立てる教材開発・扱いについて積極的に研究することを期待する。		
評価方法 ・①学習ノート・提出物・出席等 20% ②小論文テスト・レポート 40% ③自己・相互・指導評価 20% ④定期テスト 20% 等により総合的に行う。		
テキスト ・なし(レジユメを配布)	著者	出版社
参考書 ・小学校学習指導要領解説(理科編) ・小学校学習指導要領解説(生活編) ・小学校学習指導要領解説(総則編) ・講義資料・学習資料を適宜供与する	著者 ・文部省 著 ・文部省 著 ・文部省 著	出版社 ・東洋館出版 ・日本文教出版 ・東京書籍
授業スケジュール・内容 ・現行学習指導要領改訂の経緯・背景 ・現行学習指導要領(理科)改訂の趣旨・改訂の要点 ・理科教育のめざす人間形成と理科教育のあり方 知識注入型科学主義教育からの脱皮 ・理科指導・理科教育の基本的な考え方・あり方 理科学習論と自然認識過程における自然探求の過程の関係 ・理科指導の実際 (1) 教材研究のあり方 ・理科指導の実際 (2) 理科学習指導案の作成のあり方 ・理科の目標及び内容・指導計画の作成と各学年にわたる内容の取り扱いと関連 学年目標と学年内容の構成と各学年目標と内容の関連性 ・各学年の目標と内容の取り扱い(1) 目標と内容 (教材の実践的扱い・教材開発と工夫等) ・各学年の目標と内容の取り扱い(2) 目標と内容 (教材の実践的扱い・教材開発と工夫等) ・各学年の目標と内容の取り扱い(3) 目標と内容 (教材の実践的扱い・教材開発と工夫等) ・各学年の目標と内容の取り扱い(4) 目標と内容 (教材の実践的扱い・教材開発と工夫等) ・理科学習と評価のあり方 理科の学力と教育評価について ・小学校学習指導要領解説(生活編)・中学校学習指導要領解説(理科編)との関連を考える ・理科教育・学習にかかわる Science-Technology-Society(STS)教育・環境教育 等との関連を考える ・評価会(試験・発表等)		